

[様式2]

財団法人 大学基準協会

2011（平成23）年度「大学評価」申請用
大学基礎データ（様式）

聖 心 女 子 大 学

大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2011（平成23）年度申請用に作成していますので、2010（平成22）年5月1日が作成基準日となります。
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成してください。全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 4 各表において、制度自体がない場合は「-」（ハイフン）、制度はあるものの該当者がいない場合は「0」など、「0」と「-」を使い分け、空欄を残さないようにしてください。
- 5 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述するか欄外に大学独自の注をつけることができます。
- 6 各表に付されている脚注は消去しないでください。

なお、本「大学基礎データ」（様式）は、大学基準協会のホームページ（<http://www.juaa.or.jp>）から入手できます。

目 次

I 教育研究組織	ページ数
1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2011年4月1日現在)	様式2-1
II 教員組織	
1 (表2) 全学の教員組織	様式2-2
III 学生の受け入れ	
1 (表3) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移	様式2-4
2 (表4) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数	様式2-10
IV 施設・設備等	
1 (表5) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積	様式2-12
V 財務(私立および国立・公立大学法人の場合)	
1-1 (表6) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)	様式2-13
1-2 (表7) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)	様式2-14
2 (表8) 貸借対照表関係比率	様式2-15

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2011年4月1日現在）

（表1）

	学部等の名称	学科等の名称	開設年月日	所在地	備考	
学士課程	文学部	英語英文学科	昭和23年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1	平成19年4月名称変更	
	同上	日本語日本文学科	昭和23年4月1日	同上		
	同上	歴史社会学科	昭和23年4月1日	同上		
	同上	哲学科	昭和23年4月1日	同上		
	同上	教育学科	昭和26年4月1日			
	同上	教育学科 教育・心理学専攻	昭和32年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1	昭和26年4月1日開設の上記教育学科内に専攻として開設	
	同上	教育学科 初等教育学専攻	昭和32年4月1日	同上	昭和26年4月2日開設の上記教育学科内に専攻として開設	
大学院課程	大学院研究科等の名称	専攻等の名称	開設年月日	所在地	備考1	備考2
	文学研究科	英語英文学専攻〈修士課程〉	昭和27年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1	文学部英語英文学科	
	同上	日本語日本文学専攻〈修士課程〉	昭和27年4月1日	同上	文学部日本語日本文学科	
	同上	史学専攻〈修士課程〉	昭和27年4月1日	同上	文学部歴史社会学科	
	同上	哲学専攻〈修士課程〉	平成10年4月1日	同上	文学部哲学科	
	同上	社会文化学専攻〈博士前期課程〉	平成16年4月1日	同上	文学部歴史社会学科	
	同上	人間科学専攻〈博士前期課程〉	平成7年4月1日	同上	文学部教育学科	
	同上	人文学専攻〈博士後期課程〉	平成12年4月1日	同上		
	同上	社会文化学専攻〈博士後期課程〉	平成17年4月1日	同上		
その他	附置研究所・附属病院等の名称		開設年月日	所在地	備考	
	キリスト教文化研究所		昭和32年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1		
	心理教育相談所		平成15年4月1日	同上		

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、学部にならない記載してください。
- 3 学生募集を停止している学部・学科等はその名称を（ ）で括り、「備考2」欄に募集停止した年度を記入してください。
- 3 学部、研究科等が申請年度（2011年度）から学生受け入れを開始あるいは名称を変更している場合、届出による設置の場合、文部科学省に設置申請中の場合は、「備考2」欄にその旨を記載してください。
- 4 大学院研究科・専攻については、基礎となる学部・学科等名称を、「備考1」に記入してください。

II 教員組織

1 全学の教員組織

(表2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準上必要専任教員数		専任教員1人あたりの在籍学生数 (表4(B)/計(A))	兼任教員数	備考
		教授		准教授		講師		助教		計(A)			うち教授数				
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)						
文学部	英語英文学科 (英語英文学専攻)	5	0	2	0	注②:2	0	-	-	9	0	-	6	3	33.9	50	T/A 7人
	日本語日文学科 (日本語日文学専攻)	5	0	2	0	0	0	-	-	7	0	-	5	3		23	T/A 2人
	歴史社会学科 (史学専攻)	6	0	3	0	0	0	-	-	9	0	-	9	5		27	T/A 2人
	歴史社会学科 (人間関係専攻)	3	0	2	0	2	0	-	-	7	0	-				25	
	歴史社会学科 (国際交流専攻)	6	注①:1	3	注①:1	2	0	-	-	11	2	-	5	3		50	T/A 7人
	哲学科 (哲学専攻)	4	0	1	0	2	0	-	-	7	0	-				24	T/A 3人
	教育学科 (教育学・初等教育学専攻)	8	0	2	0	0	0	-	-	10	0	-				注②:11	6
	教育学科 (心理学専攻)	3	0	2	0	2	0	-	-	7	0	-	23	T/A 7人			
文学部 計		40	1	17	1	8	0	0	0	67	2	0	36		(269)		
(その他の学部教育担当組織)															24	副専攻・現代基礎教養の非常勤講師	
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数													21				
合計		40	1	17	1	8	0	0	0	67	2	0	57		360		
研究科・専攻		専任教員数					助手	設置基準上必要専任教員数			兼任教員数	備考					
		研究指導教員		研究指導補助教員	計	研究指導教員		研究指導補助教員									
		数	うち教授数			数			うち教授数								
文学研究科	英語英文学専攻(修士課程)	注③:6	4		注③:6	-	3	2	2	3							
	日本語日文学専攻(修士課程)	7	5		7	-	3	3	2	1							
	哲学専攻(修士課程)	7	4		7	-	2	2	3	1							
	史学専攻(修士課程)	9	6		9	-	4	3	3	6							
	社会文化学専攻(博士前期課程)	13	7		13	-	注④:※	5	注④:※	5							
	人間科学専攻(博士前期課程)	17	11		17	-	注④:※	5	注④:※	10							
	社会文化学専攻(博士後期課程)	13	7		13	-	注④:※	5	注④:※	2							
	人間科学専攻(博士後期課程)	17	11		17	-	注④:※	4	注④:※	4							

	人文学専攻(博士後期課程)	18	13		18		-	注④:※	6	注④:※	0	T/A 1人	
文学研究科 計		101	68	0	0	101	0	0	12	35	0	10	(32)
合 計		101	68	0	0	101	0	0	12	35	0	10	32

[注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載し、空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。

- 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制専任教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。また、専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 本表内では1人の専任教員を複数の学部間、大学院研究科の同一の課程（例えば修士課程間）に重複記入しないでください。ただし、大学院研究科では、1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできます。
- 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数（併設短期大学からの兼務者も含む）を記入してください。同一の兼任教員が複数の学科、専攻を担当する場合は、それぞれ記入してください（重複可）。大学の状況によっては、学科ごとではなく学部全体、研究科全体で記述しても構いません。
- 専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。
- 「設置基準上必要専任教員数」欄には、学部については大学設置基準別表第一、第二、大学院研究科については「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示 第175号）、専門職大学院については「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合には備考欄にその旨を記述してください。
- 「助手」欄には、所属先にかかわらず、業務にも従事している助手数をすべて記入してください。（例：学部の助手であっても大学院研究科においても従事している場合、大学院研究科の助手数にも含めてください。）

<学部・学科等について>

- 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。（例：大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合など）
- 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。

<大学院研究科について>

- 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。

[本学としての注記]

- 注① 任期を2年とする外国人客員教員である。
- 注② 文部科学省に問い合わせたところ、教育学科については大学設置基準における専任教員数が不足なので、上記数字を記入。
- 注③ 休職者1を含む。
- 注④ 文部科学省に問い合わせたところ、※については専門分野判定が出来ないため、大学院設置基準における専任教員数にうついて指示が出せないとの回答を得たため、未記入。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者数の推移

<学部>

(表3)

学部名	学科名	入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2010年度 入学者の 学科計に対す る割合(%)	2010年度 入学者の 学部計に対す る割合(%)
文 学 部	学 部 一 括 募 集	一般入試 (3教科方式)	志願者	1,194	1,238	1,239	1,087	1,036	20.4	20.4
			合格者	468	469	493	425	406		
			入学者(A)	145	144	141	129	109		
			入学定員(B)	250	250	250	250	250		
			A/B	0.6	0.6	0.6	0.5	0.4		
		一般入試 (プレゼンテーション方式)	志願者	101	121	97	104	78	3.0	3.0
			合格者	30	27	20	20	17		
			入学者(A)	27	24	14	18	16		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
		AO入試	志願者	117	165	180	175	152	14.6	14.6
			合格者	46	76	72	79	78		
			入学者(A)	45	75	70	79	78		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
		附属校推薦 (姉妹校推薦)	志願者	171	153	142	146	154	28.8	28.8
			合格者	170	153	142	146	154		
			入学者(A)	170	153	142	146	154		
			入学定員(B)	※	※	※	※	※		
			A/B	-	-	-	-	-		
		指定校推薦	志願者	119	146	146	163	167	31.2	31.2
			合格者	119	145	146	163	167		
			入学者(A)	119	145	146	163	167		
			入学定員(B)	※	※	※	※	※		
A/B	-		-	-	-	-				
留学生試験	志願者	8	15	11	12	8	0.7	0.7		
	合格者	6	10	8	10	5				
	入学者(A)	6	9	8	10	4				
	入学定員(B)	10	10	10	10	10				
	A/B	0.6	0.9	0.8	1.0	0.4				
帰国生徒入試	志願者	77	75	90	62	51	1.3	1.3		
	合格者	50	51	66	38	38				
	入学者(A)	8	13	11	7	7				
	入学定員(B)	30	30	30	30	30				
	A/B	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2				

学 科 計	志願者	1,787	1,913	1,905	1,749	1,646	100.0	
	合格者	889	931	947	881	865		
	入学者(A)	520	563	532	552	535		
	入学定員(B)	450	450	450	450	450		
	A/B	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2		
学 部 合 計	志願者	1,787	1,913	1,905	1,749	1,646		100.0
	合格者	889	931	947	881	865		
	入学者(A)	520	563	532	552	535		
	入学定員(B)	450	450	450	450	450		
	A/B	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2		
大 学 合 計	志願者	1,787	1,913	1,905	1,749	1,646		
	合格者	889	931	947	881	865		
	入学者(A)	520	563	532	552	535		
	入学定員(B)	450	450	450	450	450		
	A/B	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2		

<大学院研究科>

研究科名	専攻名	入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学者の課程計に対する割合(%)	入学者の研究科計に対する割合(%)	
英語英文学専攻(修士課程)	一般入試	志願者		3	5	1	6	3			
		合格者		3	3	1	5	1			
		入学者(A)		3	3	1	5	1			
		入学定員(B)		10	10	10	10	10			
		A/B		0.3	0.3	0.1	0.5	0.1			
		志願者		3	5	1	6	3			
		合格者		3	3	1	5	1			
		入学者(A)		3	3	1	5	1			
	課程計	入学定員(B)		10	10	10	10	10			
		A/B		0.3	0.3	0.1	0.5	0.1			
		志願者		3	5	1	6	3			
		合格者		3	3	1	5	1			
	専攻計	入学者(A)		3	3	1	5	1			
		入学定員(B)		10	10	10	10	10			
		A/B		0.3	0.3	0.1	0.5	0.1			
		志願者		3	5	1	6	3			
		合格者		3	3	1	5	1			
	日本語日本文学専攻(修士課程)	一般入試	志願者		4	6	2	5	8		
			合格者		4	6	1	5	5		
			入学者(A)		3	4	0	4	5		
入学定員(B)				5	5	5	5	5			
A/B				0.6	0.8	0.0	0.8	1.0			
社会人入試		志願者		0	2	0	1	0			
		合格者		0	0	0	0	0			
		入学者(A)		0	0	0	0	0			
		入学定員(B)		0	0	0	0	0			
		A/B		-	-	-	-	-			
留学生入試		志願者		0	0	0	1	0			
		合格者		0	0	0	0	0			
		入学者(A)		0	0	0	0	0			
		入学定員(B)		0	0	0	0	0			
		A/B		-	-	-	-	-			
課程計		志願者		4	8	2	7	8			
		合格者		4	6	1	5	5			
		入学者(A)		3	4	0	4	5			
		入学定員(B)		5	5	5	5	5			
		A/B		0.6	0.8	0.0	0.8	1.0			
専攻計	志願者		4	8	2	7	8				
	合格者		4	6	1	5	5				
	入学者(A)		3	4	0	4	5				
	入学定員(B)		5	5	5	5	5				
	A/B		0.6	0.8	0.0	0.8	1.0				

文学研究科	史学専攻（修士課程）	一般入試	志願者	3	4	3	3	8		
			合格者	3	4	3	3	6		
			入学者(A)	3	4	3	2	6		
			入学定員(B)	5	5	5	5	5		
			A/B	0.6	0.8	0.6	0.4	1.2		
		課程計	志願者	3	4	3	3	8		
			合格者	3	4	3	3	6		
			入学者(A)	3	4	3	2	6		
			入学定員(B)	5	5	5	5	5		
			A/B	0.6	0.8	0.6	0.4	1.2		
	専攻計	志願者	3	4	3	3	8			
		合格者	3	4	3	3	6			
		入学者(A)	3	4	3	2	6			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
		A/B	0.6	0.8	0.6	0.4	1.2			
	社会文化学専攻（博士前期課程）	一般入試	志願者	4	4	7	6	3		
			合格者	4	3	6	4	3		
			入学者(A)	4	3	6	4	3		
			入学定員(B)	6	6	6	6	6		
			A/B	0.7	0.5	1.0	0.7	0.5		
		社会人入試	志願者	0	0	0	0	0		
			合格者	0	0	0	0	0		
			入学者(A)	0	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	4	4	7	6	3			
		合格者	4	3	6	4	3			
入学者(A)		4	3	6	4	3				
入学定員(B)		6	6	6	6	6				
A/B		0.7	0.5	1.0	0.7	0.5				
社会文化学専攻（博士後期課程）	一般入試	志願者	3	2	1	0	2			
		合格者	3	2	1	0	1			
		入学者(A)	3	2	1	0	1			
		入学定員(B)	2	2	2	2	2			
		A/B	1.5	1.0	0.5	0.0	0.5			
	社会人入試	志願者	-	1	0	0	0			
		合格者	-	0	0	0	0			
		入学者(A)	-	0	0	0	0			
		入学定員(B)	-	0	0	0	0			
		A/B	-	-	-	-	-			
課程計	志願者	3	3	1	0	2				
	合格者	3	2	1	0	1				
	入学者(A)	3	2	1	0	1				
	入学定員(B)	2	2	2	2	2				
	A/B	1.5	1.0	0.5	0.0	0.5				
専攻計	志願者	7	7	8	6	5				
	合格者	7	5	7	4	4				
	入学者(A)	7	5	7	4	4				
	入学定員(B)	8	8	8	8	8				
	A/B	0.9	0.6	0.9	0.5	0.5				

哲学専攻（修士課程）	一般入試	志願者	2	3	4	4	4		
		合格者	2	2	4	4	3		
		入学者(A)	2	1	4	4	3		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		A/B	0.3	0.2	0.7	0.7	0.5		
	社会人入試	志願者	0	0	0	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	2	3	4	4	4		
		合格者	2	2	4	4	3		
		入学者(A)	2	1	4	4	3		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		A/B	0.3	0.2	0.7	0.7	0.5		
専攻計	志願者	2	3	4	4	4			
	合格者	2	2	4	4	3			
	入学者(A)	2	1	4	4	3			
	入学定員(B)	6	6	6	6	6			
	A/B	0.3	0.2	0.7	0.7	0.5			
人文学専攻（博士後期課程）	一般入試	志願者	3	3	1	3	3		
		合格者	3	2	1	3	2		
		入学者(A)	3	2	0	3	2		
		入学定員(B)	4	4	4	4	4		
		A/B	0.8	0.5	0.0	0.8	0.5		
	課程計	志願者	3	3	1	3	3		
		合格者	3	2	1	3	2		
		入学者(A)	3	2	0	3	2		
		入学定員(B)	4	4	4	4	4		
		A/B	0.8	0.5	0.0	0.8	0.5		
専攻計	志願者	3	3	1	3	3			
	合格者	3	2	1	3	2			
	入学者(A)	3	2	0	3	2			
	入学定員(B)	4	4	4	4	4			
	A/B	0.8	0.5	0.0	0.8	0.5			
人間科学専攻（博士前期課程）	一般入試	志願者	22	22	29	26	24		
		合格者	11	9	12	10	16		
		入学者(A)	9	7	12	8	15		
		入学定員(B)	12	12	12	12	12		
		A/B	0.8	0.6	1.0	0.7	1.3		
	社会人入試	志願者	1	1	3	2	0		
		合格者	1	0	1	2	0		
		入学者(A)	1	0	1	2	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	23	23	32	28	24		
		合格者	12	9	13	12	16		
		入学者(A)	10	7	13	10	15		
		入学定員(B)	12	12	12	12	12		
		A/B	0.8	0.6	1.1	0.8	1.3		

人間科学専攻 (博士後期課程)	一般入試	志願者	0	1	2	1	1		
		合格者	0	1	2	0	1		
		入学者(A)	0	1	2	0	1		
		入学定員(B)	2	2	2	2	2		
		A/B	0.0	0.5	1.0	0.0	0.5		
	社会人入試	志願者	0	0	0	0	1		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	0	1	2	1	2		
		合格者	0	1	2	0	1		
		入学者(A)	0	1	2	0	1		
		入学定員(B)	2	2	2	2	2		
		A/B	0.0	0.5	1.0	0.0	0.5		
	専攻計	志願者	23	24	34	29	26		
		合格者	12	10	15	12	17		
		入学者(A)	10	8	15	10	16		
		入学定員(B)	14	14	14	14	14		
A/B		0.7	0.6	1.1	0.7	1.1			
研究科合計	志願者	45	54	53	58	57			
	合格者	34	32	32	36	38			
	入学者(A)	31	27	30	32	37			
	入学定員(B)	52	52	52	52	52			
	A/B	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7			
大学院合計	志願者	45	54	53	58	57			
	合格者	34	32	32	36	38			
	入学者(A)	31	27	30	32	37			
	入学定員(B)	52	52	52	52	52			
	A/B	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7			

[注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。

- 2 学部・学科、博士課程前期（修士）課程、博士課程後期（博士）課程、一貫制大学院、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 3 「入試の種類」は、大学の実態に合わせて作成してください。ただし、「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。
- 6 留学生入試を実施している場合、交換留学生は含めないでください。
- 7 入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。
- 8 法科大学院において未修・既修を分けて入試を実施していない場合は、両者をひとつにまとめて記入してください。

2 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数

(表4)

	学部・研究科	学科・専攻	2010年度 入学定員	2010年度 収容定員		在籍学生数 (B)	収容定員に 対する在籍 学生数比率	入学定員に 対する入学者数比 率(5年間平均)	編入学生数	編入学定員 に対する編入 学生数比率	
				(A)注 i	(A')注 ii						
聖 心 女 子 大 学	学士課程	基礎課程	(450)	-	450	544	1.21	1.21	-	-	
		英語英文学科	90	378	288	358	1.24	-	20	3.33	
		日本語日文学科	45	198	153	177	1.16	-	5	0.83	
		歴史社会学科	170	698	528	649	1.23	-	22	3.67	
		哲学科	40	172	132	148	1.12	-	4	1.00	
		教育学科(教育・心理学専攻)	85	364	279	324	1.16	-	13	0.54	
		教育学科(初等教育学専攻)	20	80	60	74	1.23	-	-	-	
	学部合計			450	1890	1890	2274	1.20	1.21	64	2.13
	大学院課程	文学研究科	英語英文学専攻	10	20	-	6	0.30	0.26		
			日本語日文学専攻	5	10	-	9	0.90	0.64		
			史学専攻	5	10	-	9	0.90	0.72		
			哲学専攻	6	12	-	9	0.75	0.47		
			社会文化学専攻	6	12	-	7	0.58	0.67		
			人間科学専攻	12	24	-	26	1.08	0.92		
修士課程合計			44	88	-	66	0.75	0.62			
文学研究科		人文学専攻	4	12	-	13	1.08	0.50			
		社会文化学専攻	2	6	-	4	0.67	0.70			
		人間科学専攻	2	6	-	3	0.50	0.40			
博士課程合計			8	24	-	20	0.83	0.53			

- [注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。
 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
 3 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、「H17(2005)」以降を入力してください。
 4 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。
 5 学部・学科、大学院研究科・専攻等が募集停止あるいは完成年度に達していない場合、学部・学科、研究科・専攻名の欄に「※」を付して注記してください。(例：※2009年4月募集停止 など)
 6 留年生のみ在籍している学部等がある場合は、その学部の欄を設け、在籍学生数のみ記入してください。
 7 大学院、別科および専攻科の修業年限の既定値は、大学の実態に合わせて適宜数値を変更して記入してください。
 8 「入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)」は、あらかじめ5年平均を算出するよう計算式を組んでいるので、開設後5年未満の学部・学科等の場合は、開設後の年数に合わせて計算式を修正してください。

[本学としての注記]

1年次は基礎課程に在籍し、2年次以降学科専攻が決定する。

注 i A : 学則上の収容定員

注 ii A' : 1年次の定員を除いた実際の収容定員(学部のみ)

修業 年限	2年次編入		3年次編入		4年次編入			編入学 生数	入 学 者					入学者 計	入 学 定 員						入学 定員計	入学定員 比率の5 年平均	
	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 収容定 員合計		2006	2007	2008	2009	2010		2005	2006	2007	2008	2009	2010			
		-	-	-	-	-	-		-	-	519	578	532		552	535	2716	450	450	450			450
	6	18	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	18	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	18	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	24	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	90	-	-	-	-	-	64	519	578	532	552	535	2716	450	450	450	450	450	450	2700	1.21	
2									3	3	1	5	1	13	10	10	10	10	10	10	60	0.26	
2									3	4	0	4	5	16	5	5	5	5	5	5	30	0.64	
2									3	4	3	2	6	18	5	5	5	5	5	5	30	0.72	
2									2	1	4	4	3	14	6	6	6	6	6	6	36	0.47	
2									4	3	6	4	3	20	6	6	6	6	6	6	36	0.67	
2									10	7	13	10	15	55	12	12	12	12	12	12	72	0.92	
									25	22	27	29	33	136	44	44	44	44	44	44	264	0.62	
3									3	2	0	3	2	10	4	4	4	4	4	4	24	0.50	
3									3	2	1	0	1	7	-	2	2	2	2	2	10	0.70	
3									0	1	2	0	1	4	2	2	2	2	2	2	12	0.40	
									6	5	3	3	4	21	6	8	8	8	8	8	46	0.53	

IV 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表5)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
47,557m ²	18,900m ²	26,185m ²	8,560m ²	99	5,505m ²

[注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、トイレなどが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

V 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

（表6）

	比 率	算 式（*100）	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	60.3 %	56.4 %	60.0 %	57.7 %	60.0 %	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	95.0	94.1	95.9	93.3	92.0	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	24.0	22.2	23.6	25.3	26.1	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.4	6.2	6.7	6.8	6.8	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.8	14.6	9.5	-4.5	4.4	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	91.2	85.4	90.5	104.5	95.6	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	94.9	92.4	105.4	134.3	102.4	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	63.4	60.0	62.6	61.8	65.2	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.4	15.0	11.4	9.6	8.7	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	17.4	15.7	13.9	14.5	14.9	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.0	7.6	14.1	22.2	6.6	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	11.5	11.3	10.6	10.6	12.3	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表7）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

（表7）

	比 率	算 式（*100）	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 56.9%	% 56.1%	% 58.1%	% 58.9%	% 57.9%	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	74.4%	72.3%	76.8%	78.1%	74.1%	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	27.0%	27.3%	27.3%	28.2%	30.2%	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.5%	5.7%	5.6%	5.8%	6.1%	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.8%	7.1%	6.2%	4.2%	2.8%	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	92.2%	92.9%	93.8%	95.8%	97.2%	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	93.1%	96.6%	98.4%	99.2%	100.3%	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	76.4%	77.7%	75.7%	75.5%	78.1%	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.1%	5.6%	5.5%	4.8%	3.9%	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.1%	6.2%	5.7%	5.8%	6.7%	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.9%	3.9%	4.7%	3.4%	3.1%	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	9.7%	10.1%	9.6%	10.4%	10.5%	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率（私立大学のみ）

（表8）

	比 率	算 式（*100）	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	57.8%	56.7%	56.6%	58.0%	59.6%	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	42.2%	43.3%	43.4%	42.0%	40.4%	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	8.2%	7.7%	7.2%	6.7%	6.3%	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	5.5%	5.7%	5.2%	5.3%	5.3%	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	86.4%	86.6%	87.5%	88.0%	88.4%	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	-2.1%	-1.4%	-1.1%	-1.0%	-1.0%	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	63.4%	61.2%	59.6%	57.6%	55.9%	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	58.0%	56.2%	55.1%	53.5%	52.2%	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	731.9%	711.1%	766.6%	686.8%	633.5%	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	14.4%	14.4%	13.5%	13.7%	13.9%	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	15.8%	15.5%	14.2%	13.7%	13.1%	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	232.9%	171.4%	210.6%	223.5%	223.8%	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	39.4%	49.9%	59.4%	69.0%	81.8%	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	57.9%	60.4%	62.4%	64.9%	67.3%	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

[様式3]

財団法人 大学基準協会

2011（平成23）年度「大学評価」申請用
大学データ集（参考）（様式）

提出を求める「大学基礎データ」以外の根拠資料として、必要に応じて本様式をご活用ください。

※尚、データを作成の際は〔様式2〕の注意事項を参照ください。

目 次

ページ数

I 教員・教員組織

1	(表1) 専任教員個別表	様式3-1
2	(表2) 専任教員年齢構成	様式3-2
3	(表3) 専任教員の担当授業時間	様式3-3
4	(表4) 専任教員の給与	様式3-4

II 教育内容・方法・成果

1	(表5) 開設授業科目における専兼比率	様式3-5
2	(表6) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	様式3-9
3	(表7) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	様式3-10
4	(表8) 卒業判定	様式3-11
5	(表9) 大学院における学位授与状況	様式3-12
6	(表10) 就職・大学院進学状況	様式3-14
7	(表11) 国家試験合格率	様式3-15
8	(表12) 公開講座の開設状況	様式3-16
9	(表13) 学生の国別国際交流	様式3-17
10	(表14) 教員・研究者の国際学術研究交流	様式3-18

III 学生の受け入れ

1	(表15) 学部・学科の退学者数	様式3-19
---	------------------	--------

IV 学生支援

1	(表16) 奨学金給付・貸与状況	様式3-20
2	(表17) 学生相談室利用状況	様式3-22

V 教育研究等環境

1	(表18) 専任教員の教育・研究業績	様式3-23
2	(表19) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	様式3-25
3	(表20) 専任教員の研究費 (実績)	様式3-26
4	(表21) 専任教員の研究旅費	様式3-27
5	(表22) 学内共同研究費	様式3-28

6	(表23) 教員研究費内訳	様式3-29
7	(表24) 科学研究費の採択状況	様式3-30
8	(表25) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額	様式3-31
9	(表26) 教員研究室	様式3-32
10	(表27) 主要施設の概況	様式3-33
11	(表28) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模	様式3-34
12	(表29) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模	様式3-35
13	(表30) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	様式3-36
14	(表31) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	様式3-37
15	(表32) 図書館利用状況	様式3-38
16	(表33) 学生閲覧室等	様式3-39

VI 管理運営・財務

1	(表34) 事務組織	様式3-40
---	------------	--------

VII 内部質保証

1	(表35) 財政公開状況 (私立大学のみ)	様式3-41
2	(表36) 財政公開状況 (公立大学法人のみ)	様式3-43

I 教員・教員組織

1 専任教員個別表

個人情報を含むため掲載していません。

〇〇学部

(表1)

職名	ふりがな 氏名	性別	年齢	就 職 年 月 日	現職就任 年 月 日	所属学科	授 業 科 目								年間平均 毎週授業時 間数	大学院 における研究 指導担当資格 の有無	最終学歴及 び学位称号	
							科目名	毎週授業時間数										
								講義		演習		実験・実 習・実技		計				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	ふりがな 〇〇〇〇	男	57	1985.4.1	1991.4.1	〇〇学科	〇〇概論	2.0						2.0	0.0	有	〇〇大学〇〇 研究科博士課 程修了 〇〇学博士	
						〇〇演習			2.0	2.0			2.0	2.0				
						△ 〇〇特講		2.0					0.0	2.0				
						〇〇〇〇				2.0	2.0		2.0	2.0				
						〇〇〇〇				2.0			0.0	2.0				
						〇集中講義	2.0						2.0	0.0				
						計	4.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	8.0	8.0	8.0			
准教授	ふりがな 〇〇〇〇	女	41	1990.4.1	1995.4.1	〇〇学科	〇〇概論	2.0	2.0					2.0	2.0	無	〇〇大学〇〇 研究科博士課 程修了 〇〇学博士	
						〇〇演習			4.0				4.0	0.0				
						〇〇特講			2.0	2.0			2.0	2.0				
						〇〇〇〇	2.0	2.0					2.0	2.0				
						計	4.0	4.0	6.0	2.0	0.0	0.0	10.0	6.0	8.0			

[注] 1 専任教員について、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。

2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科（博士前期課程）の授業科目には△印を、大学院研究科（博士後期課程）の授業科目には▲印を付してください。

3 「授業科目」欄については、 Semester制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。

4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください（例えば1コマ90分の場合は、2授業時間）。

5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。

6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。

7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

2 専任教員年齢構成

(表2)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
文学部	教授	0	3	10	11	9	6	1	0	0	0	40
		0.0%	7.5%	25.0%	27.5%	22.5%	15.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	1	3	6	4	2	0	0	17
		0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	35.3%	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	1	0	1	1	6	0	1	10
		0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	60.0%	0.0%	10.0%	100%
助教	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	100%
学部計			(3)	(11)	(13)	(12)	(13)	(6)	(8)		(1)	67
		0.0%	4.5%	16.4%	19.4%	17.9%	19.4%	9.0%	11.9%	0.0%	1.5%	100%
大学合計		0	3	11	13	12	13	6	8	0	1	67
		0.0%	4.5%	16.4%	19.4%	17.9%	19.4%	9.0%	11.9%	0.0%	1.5%	100%
定年 68歳												

[注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

3 専任教員の担当授業時間

文学部（62人） ※研修年適用者4名および休職者1名を除く

（表3）

教員 区分	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	17.7 授業時間	21.8 授業時間	13.6 授業時間		1 授業時間 45分
最低	4.0 授業時間	10.2 授業時間	4.9 授業時間		
平均	12.4 授業時間	13.5 授業時間	11.6 授業時間		
責任授業時間数	(8.0 授業時間)	(8.0 授業時間)	(8.0 授業時間)		

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表には含めず、注書きを付してください。
（記入例：※1「サバティカル取得中の教授1名を除く」）
- 2 専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
 - 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
 - 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「-」を記入してください。
 - 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
 - 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

[本学としての注記]

講師に担当授業時間が特に多い教員については、学部および大学院の専攻における基礎分野科目を受け持っているためである。
また、授業時間数の特に少ない教員については、サバティカル中の教授1名および産休の講師1名が、授業1～2科目を担当しているためである。

4 専任教員の給与

(表4)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
文学部	最低	7,504,080	6,533,530	5,250,136	-
	平均	12,434,541	9,597,310	8,563,965	-

[注] 1 2009年1月から12月の1年間を対象として作成してください。

2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。

3 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

II 教育内容・方法・成果

1 開設授業科目における専兼比率

(表5)

学部・学科		専攻		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
文学部	全学共通科目		全学共通教育	専任担当科目数 (A)	0.9	13.4	26.3
				兼任担当科目数 (B)	4.1	50.6	73.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	18.0	20.9	26.3
	基礎課程科目		全学共通教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	1.0
				兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	100.0
	副専攻関連科目		専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	1.0
				兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	11.0
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	8.3
	英語英文学科	英語英文学	専門教育	専任担当科目数 (A)	4.3	50.0	63.3
				兼任担当科目数 (B)	1.7	29.0	42.7
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	71.7	63.3	59.7
日本語日本文学科	日本語日本文学	専門教育	専任担当科目数 (A)	1.0	26.0	32.0	
			兼任担当科目数 (B)	0.0	27.0	41.0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	49.1	43.8	

学部・学科		専攻		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
歴史社会学科	史学（日本史）	専門教育	専任担当科目数（A）	2.0	31.0	41.0
			兼任担当科目数（B）	1.0	13.0	23.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7	70.5	64.1
	史学（東洋史）	専門教育	専任担当科目数（A）	1.0	33.0	41.0
			兼任担当科目数（B）	0.0	16.0	23.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	67.3	64.1
	史学（西洋史）	専門教育	専任担当科目数（A）	3.0	28.0	41.0
			兼任担当科目数（B）	0.0	15.0	23.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	65.1	64.1
哲学科	人間関係	専門教育	専任担当科目数（A）	8.0	11.5	31.0
			兼任担当科目数（B）	2.0	2.5	43.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	80.0	82.1	41.9
	国際交流	専門教育	専任担当科目数（A）	4.8	53.5	58.3
			兼任担当科目数（B）	1.2	37.5	38.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	80.0	58.8	60.1
	哲学	専門教育	専任担当科目数（A）	2.0	12.0	34.0
			兼任担当科目数（B）	0.0	1.0	25.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	92.3	57.6

学部・学科		専攻		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
教育学科	教育学	専門教育	専任担当科目数 (A)	2.0	12.0	34.5	
			兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	33.5	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	66.7	100.0	50.7	
		心理学	専門教育	専任担当科目数 (A)	4.3	2.3	15.6
				兼任担当科目数 (B)	1.7	0.7	19.4
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	71.7	76.7	44.6
		初等教育学 (小学校)	専門教育	専任担当科目数 (A)	13.5	22.0	45.0
				兼任担当科目数 (B)	19.5	17.0	48.0
				専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	40.9	56.4	48.4
	初等教育学 (幼稚園)	専門教育	専任担当科目数 (A)	13.5	21.0	44.0	
			兼任担当科目数 (B)	8.5	13.0	41.0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	61.4	61.8	51.8	
教職課程		専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	5.0	
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	13.0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	27.8	

学部・学科		専攻		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
学芸員資格取得専門課程			専門教育	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	0.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	4.0	
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	0.0	0.0	

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育で記入してください。
- 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
 ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
 (例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

[本学としての注記]

- ・学則別表記載の授業科目のうち、2010年度開講授業科目のみを対象とする
- ・標準修業年限内の学生カリキュラムについて表を作成した
- ・掲載順は学則別表を参考とした
- ・「卒業論文」は各専攻の必修科目に含まれる

原則として、卒業論文は専任教員が指導担当しているが、必要があると認めるときは、教授会の議を経て、兼任教員を指導教員とすることができる

平成21年度は専任教員 59名、兼任教員 8名が卒業論文の指導を担当している

- ・国際交流専攻は2006-7年度、2008年度、2009年度とカリキュラムが変更したが、科目の領域名および分類を変更したのみである。専任/兼任科目数合計、専兼比率に影響はないため、カリキュラム年度にわけず集計を行った。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表6)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位総数 (B)		認定単位総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文 学 部	外国語外国文学科(※)	1	11	0	0	0	11.0
	日本語日本文学科	2	28	0	0	0	14.0
	歴史社会学科	4	82	0	0	0	20.5
計		7	121	0	0	0	17.3
文学研究科	英語英文学専攻	5	35	0	0	0	7.0
	社会文化学専攻	2	3	0	0	0	1.5
計		7	38	0	0	0	5.4
合 計		14	159	0	0	0	11.4

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2009年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表7)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文学部	基礎課程	22	0	44	0	0	2
	英語英文学科	24	0	48	0	0	2
	日本語日文学科	4	0	8	0	0	2
	歴史社会学科	24	0	48	0	0	2
	哲学科	2	0	4	0	0	2
	教育学科	8	0	16	0	0	2
計		84	0	168	0	0	2
合計		84	0	168	0	0	2

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。
ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」(平成19年文部科学省告示第146号)に定められた学修を記載してください。
- 3 2009年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生については、本表に含めないでください。

4 卒業判定

(表8)

学部・学科		2007年度			2008年度			2009年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
文学部	外国語外国文学科	121	108	89.26	125	112	89.60	123	107	86.99
	日本語日本文学科	54	49	90.74	66	63	95.45	55	52	94.55
	歴史社会学科	224	213	95.09	215	206	95.81	206	196	95.15
	哲学科	34	31	91.18	26	24	92.31	38	35	92.11
	教育学科	138	135	97.83	127	125	98.43	117	116	99.15
計		571	536	93.87	559	530	94.81	539	506	93.88

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表9)

研究科・専攻			2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
文学研究科	英語英文学専攻	修士博士(前期)	3	2	2	1	4	3	4	3	2	0	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	日本語日本文学専攻	修士博士(前期)	4	1	7	4	5	5	4	2	2	2	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	史学専攻	修士博士(前期)	3	2	6	3	6	4	6	4	3	3	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	社会文化学専攻	修士博士(前期)	11	8	9	7	6	5	2	2	7	6	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	—	3	—	4	2	2006年4月1日開設
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

研究科・専攻			2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
文学研究科	哲学専攻	修士博士(前期)	4	2	9	6	5	3	3	2	5	2	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	人間科学専攻	修士博士(前期)	10	8	11	8	11	10	8	7	13	12	
		博士(課程)	5	0	6	1	3	5 (5)	3	2 (2)	2	2 (1)	() は学位規定第4章第15条第7項による授与件数
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	人文学専攻	修士博士(前期)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(課程)	8	0	14	1	13	1	10	1	8	1	
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表10)

学 部	進 路	2007年度	2008年度	2009年度	
文学部	就職	民間企業	408	371	310
		官公庁	2	7	10
		教員	35	47	35
		上記以外	—	—	—
	進学	自大学院	23	20	28
		他大学院	18	22	20
		上記以外	9	10	17
	そ の 他	41	53	86	
	合 計	536	530	506	

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

該当無し

7 国家試験合格率

(表11)

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100

8 公開講座の開設状況

(表12)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備 考
		2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度	
聖心女子大学	文学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007年度2008年度 はシンポジウム形 式にて実施
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。

2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表13)

国名 学部・研究科	大韓民国			台湾			アメリカ合衆国			オーストラリア			フランス			イギリス			合計		
	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ	派	遣	受け入れ
文学部	0		4	2		1	1		0	1		0	1		0	2		0	7		5
計	0		4	2		1	1		0	1		0	1		0	2		0	7		5

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2010年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

[聖心女子大学 注記]

- 1 派遣人数には、2009年度後期から継続して派遣中の学生1名を含む（イギリス）。
- 2 派遣人数には、2010年度後期から出発する学生3名を含む（アメリカ、フランス、イギリスいずれも6カ月以上の留学）。
- 3 当該年度の交流協定締結国との派遣・受入れ実績は、全6カ国。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表14)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2007年度		2008年度		2009年度		2007年度		2008年度		2009年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
文 学 部	新規	4	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	新規	4	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- [注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。
- 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。
- 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の退学者数

(表15)

学部	学科	2007年度					2008年度					2009年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
文学部	基礎課程	7	0	0	0	7	8	0	0	0	8	5	0	0	0	5
	外国語外国文学科(※)	0	1	1	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3
	英語英文学科(※)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
	日本語日本文学科	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2
	哲学科	0	2	0	1	3	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0
	歴史社会学科	0	0	1	1	2	0	3	1	1	5	0	1	1	1	3
	教育学科	0	1	0	1	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
合 計		7	4	2	5	18	8	4	4	4	20	5	3	4	5	17

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

※学科名称変更に伴い、平成19年度以降入学者は、「英語英文学科」、平成18年度以前入学者は「外国語外国文学科」に所属。

IV 学生支援

1 奨学金給付・貸与状況

(表16)

	奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 A/B*100	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
文学部	聖心女子大学奨学金(学部)(新入生)	学内	貸与	5	561	0.9%	1,625,000	325,000
	聖心女子大学奨学金(学部)(2~4年生)	学内	貸与	32	1,680	1.9%	19,455,000	607,969
	聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金(新入生) 注①	学内	給付	8	561	1.4%	2,600,000	325,000
	聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金(2~4年生)	学内	給付	21	1,680	1.3%	6,825,000	325,000
	一般入試(3教科方式)成績優秀者奨学金 注②	学内	給付	注③:0	561	0.0%	-	-
	聖マグダレナ・ソフィア・バラ賞特別奨学金(2~3年生対象)	学内	給付	2	1,130	0.2%	1,000,000	500,000
	宮代会特別奨学金(次年度4年生対象)	学外	給付	3	575	0.5%	1,500,000	500,000
	エリザベス・ブリット基金奨学金(2~4年生対象)	学外	給付	2	1,680	0.1%	1,300,000	650,000
	日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	135	2,241	6.0%	86,328,000	639,467
	日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	236	2,241	10.5%	190,488,000	807,153
	福島県奨学生	学外	貸与	1	2,241	0.0%	480,000	480,000
あしなが奨学生	学外	貸与	1	2,241	0.0%	480,000	480,000	
大学院文学研究科	聖心女子大学奨学金(院)	学内	貸与	4	87	4.6%	1,880,000	470,000
	聖心女子大学大学院特別奨学金	学内	給付	12	87	13.8%	5,640,000	470,000
	宮代会特別奨学金	学外	給付	2	87	2.3%	940,000	470,000
	日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	4	87	4.6%	4,224,000	1,056,000
	日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	2	87	2.3%	2,160,000	1,080,000
	日本カトリック学術奨励金「研究奨励賞」	学外	給付	1	87	1.1%	300,000	300,000

留 学 関 係	聖心女子大学外国人留学生特別奨学金（学部）	学内	給付	17	25	68.0%	2,999,990	176,470
	聖心女子大学外国人留学生特別奨学金（院）	学内	給付	0	0	-	-	-
	聖心女子大学外国人留学生授業料減免（学部）	学内	給付	24	25	96.0%	4,680,000	195,000
	聖心女子大学外国人留学生授業料減免（院）	学内	給付	0	0	-	-	-
	私費外国人留学生等学習奨励費（学部）	学外	給付	7	25	28.0%	336,000	48,000
	私費外国人留学生等学習奨励費（院）	学外	給付	0	0	-	-	-
	国費外国人留学生	学外	給付	1	1	100.0%	158,000	158,000

[注] 1 2009年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

[本学としての注記]

注① 聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金（給付）

姉妹校推薦入試の成績優秀な学生10名に対し、授業料の半額相当額（325,000円）を4年間給付する制度

注② 一般入試（3教科方式）成績優秀者奨学金（給付）

一般入試（3教科方式）成績上位10名に対し、授業料の半額相当額（325,000円）を4年間給付する制度

注③ 対象者が入学しなかったため。

在籍学生総数（B）について、それぞれの奨学金の対象とする学年・人数を記入した。

2 学生相談室利用状況

(表17)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2007年度	2008年度	2009年度	
学生相談室	2名	4名	5名	246日	10:30 ~ 16:30	948件	998件	898件	

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

1. スタッフの種類	専任	臨床心理士	2名
	非常勤	医師	1名
		臨床心理士	3名

V 教育研究等環境

1 専任教員の教育・研究業績

別途HPに掲載済み。

(表18)

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当 資格の有無 (有・無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
〇〇〇〇〇	単著	平成16年3月	△△社		250頁
〇〇〇〇〇	共著	平成17年4月	△△△△出版	◎××××、×××× ××××	120頁～165頁
論文					
〇〇〇〇〇〇〇〇〇	単著	平成18年2月	△△△学会誌 (第10巻第2号)		16頁～43頁

○○○○○○○○○○	単著	同 年12月	Journal of △△ vol.21 No.3		121頁～139頁
○○○○○○○○○○	共著	平成19年3月	『△△研究』△△出版	××××、××××	83頁～134頁
III 学会等および社会における主な活動					
平成13年4月～平成19年12月	○○学会理事				

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに別個に作成してください。
- 2 各教員ごとに最近5年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
- 3 「教育活動」については、各項目ごとに年月日順に、「学会等および社会活動」については、就任年月日順に記入してください。
- 4 「研究活動」については、下記の点に留意してください。
- ① 著書・論文及びその他の順に、発表年月日順に記入してください。
 - ② 著者が複数にわたる場合で、筆頭著者が著書・論文等において明示されている場合には、その氏名に◎印を付してください。
 - ③ 共著（論文）の場合、「該当頁数」の記入にあたっては、本人の分担箇所を特定できる場合は、その頁数を記載してください。
 - ④ 最近5年間に著書・論文等の発表のなかった者についても、教員名を挙げてその部分を空欄にしておいてください。

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）
 別途HPに掲載済み。

(表19)

		所属	職名	氏名	
展覧会・演奏会・競技会等の名称	場 所	開催日時	発表・展示等の内容等		

3 専任教員の研究費

(表20)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
文学部	221,853,958	27,567,676	68	3,262,558	405,407	
計	221,853,958	27,567,676	68	3,262,558	405,407	

- [注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

4 専任教員の研究旅費

(表21)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
文 学 部	総 額	-	-	-	-	10,805,673	3,676,120	1. 在外研究〈原則 ①空運賃250,000円（一律）、②日当月170,000円
	支 給 件 数	-	-	-	-	33	86	
	総 額	-	-	-	-	-	-	2. 学会出張回数（原則） ①国内（年間2回、学会発表を含めると3回）
	支 給 件 数	-	-	-	-	-	-	
計	総 額	-	-	-	-	10,805,673	3,676,120	②海外（学会発表を条件に年間1回）
	支 給 件 数	-	-	-	-	33	86	

[注] 1 2009年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

(表22)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
文学部	—	—	
計	—	—	

- [注] 1 2009年度の実績を記入してください。
- 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
- 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
- 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表23）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表23)

学部・研究科等	研究費の内訳	2007年度		2008年度		2009年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
文学部	研究費総額	247,621,472	100%	254,579,000	100%	269,985,000	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	216,400,000	87.4%	226,719,000	89.1%	240,501,000	89.1%
		学内共同研究費	2,940,000	1.2%	2,940,000	1.2%	—	—
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	28,281,472	11.4%	24,920,000	9.8%	29,484,000	10.9%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	—	—	—	—	—	—
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	—	—	—	—	—	—
		奨学寄附金	—	—	—	—	—	—
		受託研究費	—	—	—	—	—	—
		共同研究費	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—		

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表20)の(A)+(表21)の計、経常研究費、(表22)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表24)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2007年度			2008年度			2009年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
文学部	5	3	60	9	5	55.6	7	6	85.7
計	5	3	60	9	5	55.6	7	6	85.7

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表25)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッドの額	その他の学外研究費総額 (B)	うちオーバーヘッドの額	
文学部	68	29,484,000	6,804,000	0	0	29,484,000
合 計	68	29,484,000	6,804,000	0	0	29,484,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2009年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2009年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

9 教員研究室

(表26)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員1人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
文学部	80	24	104	2,449㎡	20.1	35.2	67	100	23.1㎡	
計	80	24	104	2,449㎡	20.1	35.2	67	100	23.1㎡	

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。
- 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。
- 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。
- 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

10 主要施設の概況

(表27)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
1号館	講義室、演習室、研究室、自習室、実験・実習室、学部資料室等	昭和25(1950)年 昭和27(1952)年増築 昭和37(1962)年増築 昭和38(1963)年増築	10,666m ²	
2号館	講義室、演習室、研究室、自習室、実験・実習室、学部資料室等	昭和33(1958)年 昭和40(1965)年増築 昭和59(1984)年増築	5,078m ²	
3号館	講義室、演習室、研究室、自習室、多目的ホール、課外活動施設等	平成10(1998)年	6,327m ²	
図書館	図書館	昭和50(1975)年	2,741m ²	
マリアンホール	講堂・会議室	昭和29(1954)年	1,849m ²	
体育館	体育館	昭和55(1980)年	1,442m ²	

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

11 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表28)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積 (m ²) (A/B)	備 考
文 学 部	講 義 室	37	3,456m ²	専用	3,219	2,274	1.52m ²	
	演 習 室	19	522m ²	共用	302	2,274	0.23m ²	文学研究科(学生数86) と共用
	学 生 自 習 室	15	564m ²	専用	214	2,274	0.25m ²	
文学研究科	講 義 室	0		—	0			
	演 習 室	1	38m ²	専用	10	86		
	学 生 自 習 室	25	514m ²	専用	155	86		
	体 育 館	1	1,442m ²	専用				
	講 堂	1	864m ²	共用	1,000			

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

12 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表29)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
情報処理学習施設	10	801	290	2.8	文学部	
語学学習施設	2	156	60	2.6	文学部	
博物館学芸員実習室	2	42	24	1.8	文学部	
心理学専攻実験室	5	122	38	3.2	文学部	
人間関係専攻実験室	4	155	40	3.9	文学部	
音楽室	1	146	60	2.4	文学部	
ピアノ演習室	5	30	5	6.0	文学部	
造形実習室	1	114	60	1.9	文学部	
家庭科実習室	1	178	20	8.9	文学部	
理科実験室	1	86	36	2.4	文学部	
教育学専攻各種実習室	1	119	32	3.7	文学部	
大学院人間科学実験室	5	86	22	3.9	文学研究科	
計	38	2,035	687	3.0		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「11 学部・研究科等ごとの講義室・演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

{本学としての注記}

①情報処理学習施設：メディア学習支援センターF、メディア学習支援センターC・D、メディア学習支援センターE、情報管理室、国際交流コンピュータ室、心理コンピュータ室、人間関係コンピュータ室、学習支援センター（含む準備室）、英文メディアルーム（メディア学習支援センターC・Dは2室として計算）

②博物館学芸員実習室：準備室を含む

③教育学各種実習室：2号館4階ワークショップ室

④大学院人間科学実験室：1号館4階心理学実験室（小部屋の心理研究室は大学院自習室として計上）

13 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表30)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
文学部	1 ～ 20	20	861	138	16%	
	21 ～ 50	18		306	35.5%	
	56 ～ 100	9		208	24.2%	
	101 ～ 200	7		191	22.2%	
	201 ～ 300	0		0	0%	
	301 ～ 400	1		18	2.1%	
計				861	100%	
文学研究科	1 ～ 20	20	107	79	73.8%	
	21 ～ 50	18		20	18.7%	
	56 ～ 100	9		7	6.5%	
	101 ～ 200	7		1	0.9%	
	201 ～ 300	0		0	0%	
	301 ～ 400	1		0	0%	
計				107	100%	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

[本学としての注記]

使用教室は、履修登録による当該科目の受講学生数の決定を待つ最終調整を行うため、7月30日付の状況を記載している。

14 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表31)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2007年度	2008年度	2009年度	
聖心女子大学図書館	391,394	390,927	1,387	1,083	1,196	6,933	9,086	7,630	7,576	図書の冊数と図書受け入れ状況には、製本(B.N.)雑誌を含む。
計	391,394	390,927	1,387	1,083	1,196	6,933	9,086	7,630	7,576	—

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

15 図書館利用状況

(表32)

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度	
聖心女子大学図書館	5人 (5)	1人 (1)	255日	月～金 9:00～20:00	61,350人 (教員 1,328人 職員 2,704人 学生57,318人)	69,494人 (教員 1,657人 職員 2,830人 学生65,007人)	69,589人 (教員 1,606人 職員 2,991人 学生64,992人)	27,043冊 (教員 1,286冊 職員 453冊 学生25,304冊)	25,369冊 (教員 1,282冊 職員 543冊 学生23,544冊)	30,618冊 (教員 1,583冊 職員 821冊 学生28,214冊)	年間開館日 数は2010年 度見込み 日祭日は授 業開講日の み開館
				土 9:00～17:00							
				日祭日 10:00～18:00							
				長期休暇中 10:00～18:00							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めなくて、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

16 学生閲覧室等

(表33)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座 席数 ()	備 考
聖心女子大学図書館	198席	2,002人	9.9%	138席 (書庫97席、メ ディア室6席、学 習支援室35席)	学部：1,890人 大学院：112人
計	198席	2,002人	9.9%	138席 (書庫99席、メ ディア室6席、学 習支援室35席)	—

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VI 管理運営・財務

(表34)

	部 署 名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その 他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局長	1	1	-	-	-	-	1
	小 計	1	1	-	-	-	-	1
	総務部	1	1	-	-	-	-	1
	総務課	7	-	3	-	3	7	20
	情報システム課	2	1	-	-	2	6	10
	小 計	10	2	3	-	5	13	31
	企画部	3	1	-	-	1	1	5
	小 計	3	1	-	-	1	1	5
	経理部	4	1	-	-	1	-	5
	小 計	4	1	-	-	1	-	5
計	18	5	3	-	7	14	42	
大学業務系	学務事務部	9	1	-	-	3	4	16
	教務課	9	1	-	-	-	-	10
	入学広報室	7	1	-	-	-	1	8
	小 計	16	2	-	-	3	5	24
	学生事務部	2	2	-	-	-	-	2
	学生生活課	4	1	-	-	2	3	9
	交流連携課	9	1	-	-	1	1	11
	学生相談室	-	-	-	-	-	1	1
	保健センター	2	-	-	-	1	1	4
	小 計	17	4	-	-	4	6	27
	学寮部	1	-	4	-	-	4	9
	小 計	1	-	4	-	-	4	9
	図書館事務部	5	2	-	-	2	5	12
	小 計	5	2	-	-	2	5	12
	キリスト教文化研究所	-	-	-	-	-	2	2
	小 計	-	-	-	-	-	2	2
	心理教育相談所	-	-	-	-	-	3	3
小 計	-	-	-	-	-	3	3	
計	39	8	4	-	9	25	77	
合 計	57	13	7	-	16	39	119	

- [注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。
- 2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の兼務している職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員には、「その他」欄に記入してください。
- 3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。
- 4 部単位の「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。
- 5 「助手」は含めないでください。

[本学としての注記] 常勤嘱託職員とその他から、語学指導補助者、カウンセラー、校医、キリスト教文化研究所所員は除いた。

Ⅶ 内部質保証

1 財政公開状況（私立大学用）

（表35）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							開示請求があ れば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・ 紙 ※1	大学機関誌・ 紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等) ※2	その他 ()	
教職員	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
在学生	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
卒業生	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
保護者	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		

社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書							○	
	消費収支計算書							○	
	貸借対照表							○	
	財務状況に関する解説							○	
	その他(財産目録)							○	
	その他(監事監査報告書)							○	
	その他(事業報告書)							○	
その他 ()	資金収支計算書								
	消費収支計算書								
	貸借対照表								
	財務状況に関する解説								
	その他()								
	その他()								
	その他()								

- [注] 1 2009年度決算について2010年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2010年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

[本学としての注記]

※1 聖心キャンパス 第183号

※2 聖心女子大学平成21年度事業報告書

該当無し

2 財政公開状況（公立大学法人用）

（表36）

公開の対象者	公開している 財務諸表および その解説	公開の方法							開示請求があ れば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・ 紙	大学機関誌・ 紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	
教職員	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失 の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
在学生	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失 の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
卒業生	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失 の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
保護者	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失 の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
	貸借対照表								
	損益計算書								

社会・一般 (不特定多数)	利益の処分又は損失の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
その他 ()	貸借対照表								
	損益計算書								
	利益の処分又は損失の処理に関する書類								
	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								

- [注] 1 2009年度決算について、地方独立行政法人法第34条4項等に基づき2010年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄うち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2010年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。